

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 20日

群馬県知事 あて

提出者 〒528-8585  
住 所 滋賀県甲賀市水口町泉1259

氏 名 セキスイボード株式会社

代表常務取締役 原 裕司

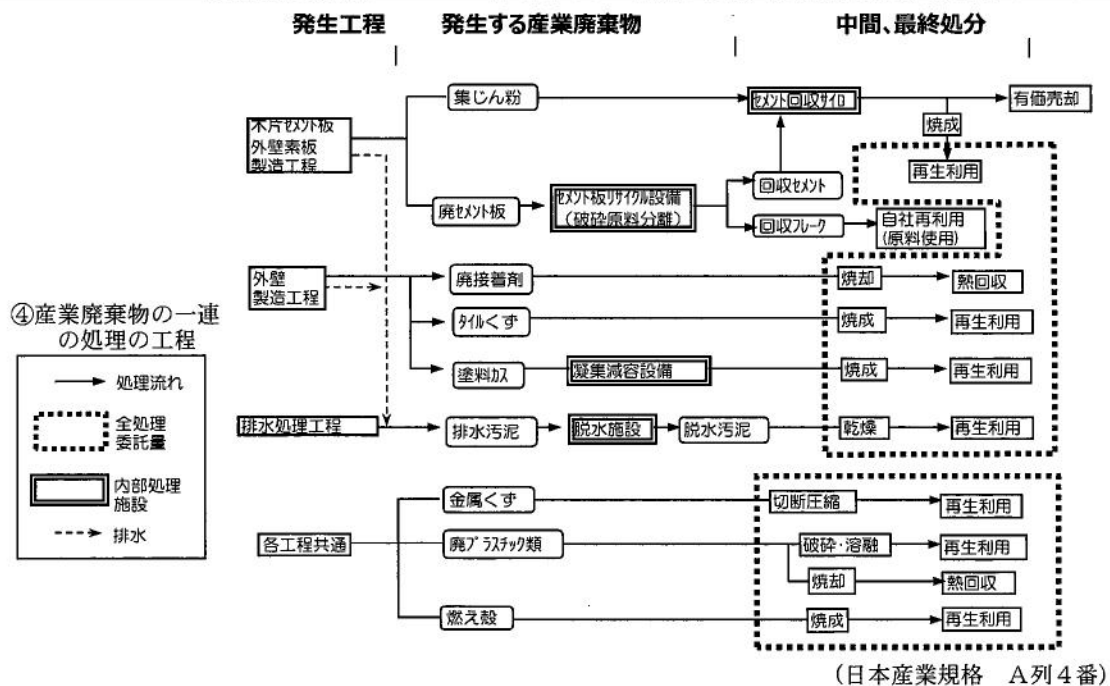
電話番号 0748-62-0073（代表）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	セキスイボード株式会社 群馬事業所 TEL0270-76-2640
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市境下湊名54番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

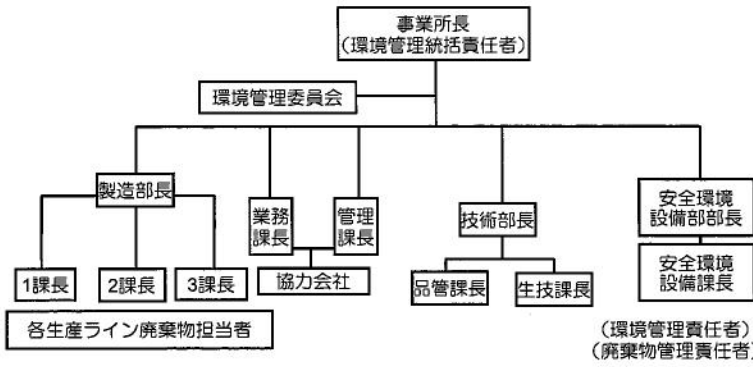
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E21窯業・土石製品製造業 その他のセメント製品製造業 2129
②事業の規模	製造売上高 5,899百万円/年
③従業員数	112名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



- 1.管理体制
  - ・安全環境会議(1/M)でのコミュニケーションを通じ、スムーズな情報伝達実施と各部署間の協力体制を推進
- 2.教育・訓練
  - ・廃棄物情報(発生量推移、等)を掲示し周知すると共に、雇入時に環境全般及び廃棄物の分別教育を実施
- 3.情報公開
  - ・廃棄物の発生状況、分別活動、再生利用状況等の情報は要求都度開示する
  - ・廃棄物の適正処理のため、関連法規を順守すると共に行政の環境施策に積極的に協力を行う

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	13号廃棄物
	排出量	8,263 t
	(これまでに実施した取組)	
別紙①の通り		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	13号廃棄物
	排出量	7,459 t
	(今後実施する予定の取組)	
別紙①の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 廃棄物置場に区画を設け、9種類26分類に分けて分別保管。</li> <li>2) 各部署に分別等管理方法を記載した廃棄物作業標準書を配布し周知。</li> <li>3) 廃棄物置場に担当が常駐し、持込品の不具合時、分別指導を随時実施</li> </ol>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 継続して、廃びニール類の分別を推進し有価物売却量を引き上げる。</li> <li>2) その他、現状の分別を継続して推進。</li> </ol>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,155 t	t
	（これまでに実施した取組） ・対象：回収フレーク 回収セメント 1) 製造で発生する外壁材の端材を、自社のリサイクル設備で破碎・分級して、セメント粉と木粉に戻し、木粉(回収フレーク)とリサイクルセメントを原料として再利用しています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,047 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・対象：回収フレーク 回収セメント 1) 前年同様に、破碎・分級したセメント粉の中に残っている木粉分を更に取り出して、再利用率を上げて行きます。また回収セメント再利用率を上げていきます。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,050 t	t
（これまでに実施した取組） 1) 発生する汚水を、脱水施設で凝集固化して減容しています。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,948 t	t
（今後実施する予定の取組） ・対象：排水汚泥 1) 継続して、凝集剤及び脱水設備の調整を行い、汚泥の含水率を低減する。			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	13号廃棄物	
	全処理委託量	4,311 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	691 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3,571 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1 t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙②の通り			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	13号廃棄物	
	全処理委託量	3,704 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	112 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3586 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙②の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別紙①

## (第2面) の別紙

### 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状【前年度(令和4年度)実績】			②計画【令和5年度目標】	
産業廃棄物の種類	排出量 実績t/年	これまでに実施した取組み	5年度 計画t/年	今後実施する予定の取組み
	当社呼称			
	回収セメント	956	908	1.回収セメントの有価売却を継続するために現状業者との取引の継続及び新規売却先の探索を行なう  (原料として再利用)
ガラスコンクリ陶磁器	回収フレーク	1,199	1,139	(原料として再生利用化)
	タイルくず	3,547	2,978	製造不良低減 令和3年実績5%減で計画
	鋼板外壁	65	62	製造不良の低減
汚泥	排水汚泥	2,050	1,948	内部乾燥処理の継続、凝集比率をテスト検討し、含水率の低減に向け検討する
	塗料カス(塊、液体)	41	39	継続して塗着効率改善、内部減容処理増大すべく、改善の実施
	接着剤	51	48	継続して塗着効率向上改善を実施する
廃プラスチック類	廃プラ	57	54	継続、マテリアル可能品の分別徹底
	廃ビニール類	32	30	継続、マテリアル可能品の分別徹底
燃え殻	燃え殻	137	130	継続、ボイラーの効率を高め、燃料消費を抑える
木くず	廃パレット等	126	119	継続、納入先への完全返却の実施及び破損パレットの発生を抑制する
廃油	廃油	3	3	-
合計	8,263	t/年	7,459	t/年

\*前年実績比の5%削減を目標として活動を行う

## 別紙②

### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

(第4面) の別紙

(第5面) の別紙

		①現状【前年度(令和4年度) 実績】						②計画【令和5年度 目標】					
廃棄物種類	当社名称	排出量	全処理委託量	優良認定業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	排出量	全処理委託量	優良認定業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
ガラスコンクリ陶磁器	回収セメント	956	0	0	0	0	0	908	0	0	0	0	0
	回収フレーク	1,199	0	0	0	0	0	1,139	0	0	0	0	0
	タイルくず	3,547	3,547	615	2,932	0	0	2,978	2,978	0	2,978	0	0
	鋼板外壁	65	65	65	0	0	0	62	62	62	0	0	0
汚泥	排水汚泥	2,050	253	0	253	0	0	1,948	240	0	240	0	0
	塗料カス(塊、液体)	41	41	0	41	0	0	39	39	0	39	0	0
	接着剤	51	51	8	0	0	43	48	48	48	0	0	0
廃プラスチック類	廃プラ	57	57	0	51	0	6	54	54	0	49	0	6
	廃ビニール類	32	32	0	32	0	0	30	30	0	30	0	0
燃え殻	燃え殻	137	137	0	137	0	0	130	130	0	130	0	0
木くず	廃パレット等	126	126	0	126	0	0	119	119	0	119	0	0
廃油	廃油	3	3	2	0	0	1	3	3	2	0	0	1
合計 (t/年)		8,263	4,311	691	3,571	0	49	7,459	3,704	112	3,586	0	6

\* 前年実績比の5%削減を目標として活動を行う